

被虐待児症候群実態調査および置き去り赤ちゃん実態調査

小林 登 (国立小児病院小児医療研究センター長, 小児生態研究部長兼任)

内藤 和美 (国立小児病院小児医療研究センター小児生態研究部)

多田 裕 (東京都立築地産院小児科)

1. 被虐待児症候群実態調査

被虐待児症候群の発生実態, とりわけ医療場面における実態を知る目的で一連の調査を企画した。現在, 数の把握のための第一次調査を終了し, 内容的把握のための第二次調査が進行中である。第一次調査(1984年11月実施)では, 全国の総病床数200以上の小児科のある病院計1,006施設を対象に, 1983年1月から12月の間の本症候群の経験の有無, 小児科入院総数などを調査した。639施設(63.5%)より回答が得られ, このうち90施設より129症例が報告された。入院例110, 外来例18, 不明が1であった。小児科入院総実数の報告は510施設より計249,363名で, ここに含まれる入院症例は93例, 0.037%であった。

2. 置き去り赤ちゃん実態調査

同時に, 出生後置き去りにされる赤ちゃんの実態調

査を計画し, 第一次調査(数的把握)を完了, 第二次調査(内容的把握)を進めている。第一次調査では1983年1月から12月の間の置き去り赤ちゃんの経験の有無, 院内分娩数等を内容とする調査票を, 全国の総病床数200以上の, 産科と小児科の病院計866施設に送付し, 489施設(56.2%)より回答を得た。

このうち33施設より51例の置き去り赤ちゃんが報告された。一方, 院内分娩数および他施設で分娩後入院した新生児数の報告は461施設より, 計275,534名, この中に含まれる置き去り赤ちゃんは50例(0.018%)であった。

両調査とも, 引き続き質的把握のための調査を進め, それらを通じて予防や対応の検討を視野に入れつつ, 虐待や置き去りの発生に関わる要因を分析していく予定である。

表1 調査対象

総病床数200以上で小児科のある病院

北海道・東北地区	190
関東甲信越地区	260
中部・北陸地区	175
近畿地区	172
中国・四国地区	115
九州地区	94
<hr/>	
全 国	1,006 施設

回 答

回答件数	639 件
回 答 率	63.5 %

表2 被虐待児症候群の経験（1983年1月～12月）

「症例あり」の報告	90施設より	129例	
┌ 入 院	80施設より	110例	
	└ 外 来	14施設より	18例
	└ 不 明	1施設より	1例
	└ 北海道・東北地区	8施設	
└ 関東甲信越地区	34施設		
└ 中部・北陸地区	23施設		
└ 近畿地区	13施設		
└ 中国・四国地区	8施設		
└ 九州地区	4施設		
「症例なし」の報告	549施設		

小児科入院数に対する割合

小児科入院数	510施設	249,363名
これら施設における入院症例	69施設	93例
		(0.037%)

表3 調査対象

総病床数200以上で産科と小児科のある病院

北海道・東北地区	157
関東甲信越地区	225
中部・北陸地区	156
近畿地区	153
中国・四国地区	99
九州地区	76
全 国	866施設

回 答

回答件数	489件
回 答 率	56.2%

表4 置き去り赤ちゃんの経験（1983年1月～12月）

「あり」の報告	33施設より	51例
北海道・東北地区 関東甲信越地区 中部・北陸地区 近畿地区 中国・四国地区 九州地区	3施設	
	13施設	
	6施設	
	6施設	
	4施設	
	1施設	
「なし」の報告	456施設	

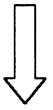
分娩数等に対する割合

分娩数の報告	461施設	266,343件
他施設で分娩後入院した児数の報告		
	189施設	9,191名
計		275,534名
これらの施設における置き去り赤ちゃんの報告		
	32施設	50例
割 合		0.018%



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



1. 被虐待児症候群実態調査

被虐待児症候群の発生実態,とりわけ医療場面における実態を知る目的で一連の調査を企画した。現在,数の把握のための第一次調査を終了し,内容的把握のための第二次調査が進行中である。第一次調査(1984年11月実施)では,全国の総病床数200以上の小児科のある病院計1,006施設を対象に,1983年1月から12月の間の本症候群の経験の有無,小児科入院総数などを調査した。639施設(63.5%)より回答が得られ,このうち90施設より129症例が報告された。入院例110,外来例18,不明が1であった。小児科入院総実数の報告は510施設より計249,363名で,ここに含まれる入院症例は93例,0.037%であった。